	［略］
市町村	算式 ［｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.215－α｝×2／3＋α］×1.002 0.4×J、0.1×K、0.1×L、0.1×M、0.1×N、0.1×O、0.1×P、｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.215－α｝及び［｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.215－α｝×2／3＋α］に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 算式の符号 J　次の算式Iによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。） 算式I J＝0.30×（k－j）＋γ 算式Iの符号 ［略］ k　平成27年から平成29年までの各年における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては1.81とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては2.33とし、町村にあつては2.70とする。 K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。） 算式Ⅱ K＝0.30×（m－l）＋2.04 算式Ⅱの符号 ［略］ m　平成27年から平成29年までの各年における転入者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。） 算式Ⅲ

	［同左］
市町村	算式 ［｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.215－α｝×1／3＋α］×1.000 0.4×J、0.1×K、0.1×L、0.1×M、0.1×N、0.1×O、0.1×P、｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.215－α｝及び［｛（0.4×J＋0.1×K＋0.1×L＋0.1×M＋0.1×N＋0.1×O＋0.1×P）×β×0.215－α｝×1／3＋α］に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。 算式の符号 J　次の算式Iによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。） 算式I J＝0.31×（k－j）＋γ 算式Iの符号 ［同左］ k　平成26年から平成28年までの各年における人口増減率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） γ　特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市にあつては1.75とし、特別区、指定都市、中核市及び施行時特例市以外の市にあつては2.29とし、町村にあつては2.62とする。 K　次の算式Ⅱによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。） 算式Ⅱ K＝0.31×（m－l）＋2.10 算式Ⅱの符号 ［同左］ m　平成26年から平成28年までの各年における転入者人口比率の合計数を3で除して得た数（小数点以下4位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。） L　次の算式Ⅲによつて算定した数（当該数に小数点以下3位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入し、当該数が3を超える場合には3とし、1に満たないときは1とする。） 算式Ⅲ